

第28回平和祈念展示資料館の運営に関するアドバイザリーボード 議事要旨

1 日 時：平成31年3月1日（金）10：00～12：00

2 場 所：新宿住友ビル47階 スカイルーム No. 4
新宿区西新宿2-6-1

3 出席者：（委員）

◎黒沢 文貴（東京女子大学現代教養学部教授）

○戸谷 好秀（独立行政法人統計センター顧問）

兼川 真紀（弁護士）

亀井 昭宏（早稲田大学名誉教授）

斎藤 靖二（神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館長）

名越 健郎（拓殖大学海外事情研究所教授）

[敬称略、◎は座長、○は座長代理]

（総務省）

相馬 清貴 官房審議官

荒木 健司 管理室長

4 議事次第

○平成31年度 平和祈念展示資料館の運營業務委託内容について

5 議事要旨

平成31年度平和祈念展示資料館の運營業務委託内容について、総務省及び委託業者から説明後、意見交換が行われた。

委員の主な発言等は以下のとおり。

- スマートフォン対応について、ホームページの作成だけではなく、QRコードなどを利用した展示解説なども考えるとよいのではないか。
- シベリア抑留や引揚げに関する図書について、新刊だけでなく、自費出版のものなども収集していただきたい。

- ホームページのドメイン変更にあたり、セキュリティ対策は十分に行っていただきたい。
- 女性を題材とした企画は、取り上げ方に注意は必要であるが、戦中・戦後の女性に目を向けることはよいことである。様々な視点でとらえ、工夫することにより、女性の来館促進にもつながるのではないか。
- 今回の企画展はよく考えられ、わかりやすく、迫力もある。このコンテンツは残して、他にも活用していくとよいだろう。
- 若い人と年配の人では情報を得る媒体が異なっている。YouTube の活用など、若い人向けにはどのような情報発信が効果的なのか、大学とコラボする際などに、模索していただきたい。